



おかだ よしのぶ 岡田義信議員が 府議会で一般質問

岡田義信議員（藤井寺市選出）は、2月定例府議会で一般質問（3月3日）に立ち、藤井寺市民と柏原市民の立場より、西名阪自動車道の料金体系見直しや女性の就業支援、健康マイレージ事業などについて、大阪府の対応や今後の予定などを質しました。

〈岡田 義信〉
おかだ よしのぶ

藤井寺小、藤井寺中、富田林高、米国・セリトス大卒。衆議院議員柳本卓治、大阪事務所秘書。衆議院議員塩川正十郎、東京事務所秘書。旅行会社取締役営業部長。大阪府議会議員1期。現在、自民党府連青年局長、府議会都市住宅常任委員。

西名阪 藤井寺・柏原—松原間の 料金体系見直しを訴える!

柏原の大動脈・国道25号の渋滞解消を提案!

Q. 岡田議員 藤井寺ICと松原JCT間は3.1kmでも410円と割高な料金。松原JCTから先の高速道路はすべて別料金で負担感もあり利用されず、周辺一般道路が渋滞する一因になっている。国道25号の渋滞解消の一案として、低廉な高速道路料金とすることで、車の流れを変えることができる。平成29年度当初に西名阪自動車道も含め阪神圏高速道路の料金を一元化するそうだが、検討状況は。

A. 都市整備部長 府は、昨年11月、短距離利用時における料金低減や、乗継時の初乗り料金を課さないシームレスな料金体系等を国に提案した。本年1月、国土幹線道路部会において、対距離制の料金体系統一や、管理主体を超えた継ぎ目のない料金実現等の基本方針が位置づけられた。この方針を基に引き続き阪神圏高速道路の料金体系一元化に向け、具体の検討を進めていく。

国と連携した地方創生と 女性活躍を訴える!

Q. 岡田議員 女性の能力活用は新たな需要や価値創造の点からも重要。先日、「女性活躍推進法案」が閣議決定されたが、追加予算案の「産官学の協働による女性の活躍推進事業」では、女性の就業継続のため、どこに重点をおいた啓発に取り組んでいくのか。

A. 府民文化部長 「産官学協働女性活躍推進事業」では、経済団体等との協働によって、経営者や人事担当者等を対象としたセミナーの開催などを通じ、若者の就業率向上を目指すことを検討している。

Q. 岡田議員 府内20歳～59歳の女性就業率は全国ワースト3。女性の就業にあたり、社会全体で女性就業を支える機運醸成が必要だが、女性就業支援の取組みは。

A. 商工労働部長 府では、雇用基金を活用し、未就労の若年女性を対象に就職意欲喚起の「しごとラボ事業」など就職支援を実施中。また、「働くこと」に対するポジティブなメッセージを発信し、マインドアップを図ることを検討中。さらに女性の活躍促進に向けた調査や企業の先進的取組み事例の収集分析を行って情報発信し、OSAKAしごとフィールドを核にフォーラムを開催するなど、社会全体で女性が働く機運を盛り上げていきたい。

藤井寺市民・柏原市民から要望が強い 「健康マイレージ事業」に ついて質す!

Q. 岡田議員 追加予算案の「健康寿命延伸プロジェクト事業」により事業実施の市町村への支援が開始されるが、これを実施すべきと判断した理由は。

A. 健康医療部長 健康マイレージ事業は、特定健診の受診率の向上や健康づくりへの意識の醸成に効果がある。先行開始した市では、導入後、受診率の向上が示されたため、有効な事業の一つと判断した。意欲的に取り組む市町村への支援を行いたい。

Q. 岡田議員 健康マイレージ事業は、技術的支援や事業実施後の評価も大切。今後、市町村からの要望や期待への対応は。

A. 健康医療部長 府は、市町村の自主性を重んじつつ、事業実施前からの技術的、専門的支援や助言はもちろん、事業実施後の評価も共に行うなど、しっかりと市町村を支えていく。

岡田議員のライフワーク・ 八尾富田林線の早期開通を!

夢物語と言われた 八尾富田林線が一部開通!

Q. 岡田議員 藤井寺市域では、平成20年度に事業が休止されたままであり、昨年9月議会でも取り上げた際、車線縮小や立体交差箇所の平面交差化など、都市計画変更の素案作成中との答弁を得た。現在の藤井寺市域の取組み状況と今後の予定は。

A. 都市整備部長 都市計画変更の素案について、藤井寺市など関係市と概ね合意し、現在、確定に向け、詳細な詰めを行っている。また、西名阪自動車道交差部や大和川渡河橋梁に係る管理者協議では西日本高速道路株式会社や国土交通省と協議・調整中。平成27年度は計画変更素案を確定し、平成28年度早期の計画変更に向けて取り組んでいく。